

RICOH

Visual Communication

デジタルサイネージ

お客様導入事例



複数のバスが乗り入れる大学病院のロータリーにデジタルサイネージを設置。

Webコンテンツの配信設定により、リアルタイムなバスの運行状況を自動的に表示。

防災／災害情報コンテンツを活用し、災害拠点病院としての機能も強化。

日本医科大学付属病院 様

- ご導入機種：リコーデジタルサイネージクラウドサービスおよび RICOH Digital Signage STB Type2 1台
 - ご導入拠点：日本医科大学付属病院
- Company Profile
- URL：https://www.nms.ac.jp/hosp/



日本医科大学付属病院
庶務課
課長
樋口 憲二 様

日本医科大学付属病院様は明治43年の開院以来、先進医療をはじめ、高度な医療の提供を通じて地域医療に幅広く貢献されています。これからも高度な医療を追求していくため新病院を建設。正面玄関には広いロータリーも新設されました。日本医科大学付属病院様は、このロータリーにデジタルサイネージを設置し多様なコンテンツを展開されています。ロータリーには、日本医科大学付属病院様が運営する巡回バスと花と森の東京病院様の巡回バス、さらに文京区コミュニティバス「Bーぐる」も乗り入れています。限られたスペースを有効活用するため、3種類のバスの情報をデジタルサイネージに集約。巡回バスの情報は病院から遠隔配信する一方、「Bーぐる」についてはWebコンテンツの配信設定により運行状況を自動的に更新。病院の職員様にも文京区様にもできる限り負荷をかけずに、タイムリーに情報更新を行う仕組みを構築されています。また、ディスプレイを3分割することで、バスの情報だけでなく病院からのお知らせや防災・災害情報も柔軟に配信。来院される方の利便性向上や情報発信の強化とともに、災害拠点病院としての機能強化も実現されています。

導入前の課題

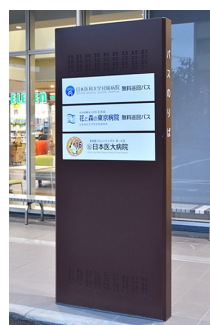
- 3種類のバスの時刻表をそれぞれ設置すると場所を取ってしまう。
- ロータリーに紙を貼りかえに行くよりも、早く簡単に情報更新ができる方法を探していた。
- 来院される方への情報発信を強化したかった。

導入後の効果

- ❗ 複数のバスの情報をデジタルサイネージに集約できた。
- ❗ 業務負荷を抑えながら、タイムリーに情報更新を行う仕組みができた。
- ❗ ロータリーを行き交う人々に向けて、多様なコンテンツを展開できるようになった。



複数のバスの情報をデジタルサイネージに集約。



マグネットになっているディスプレイの背面。バスの名称やロゴを掲示。

デジタルサイネージを検討した背景を教えてください。

日本医科大学付属病院は明治43年に開院して以来、先進医療をはじめ、高度な医療を提供し地域医療に幅広く貢献していくことを目指しています。高度な医療を追求し常に進化していくには、設備の刷新も不可欠です。そこで、法人全体のプロジェクトの一環として新病院を建設。今まで以上に快適に来院いただけるよう正面玄関には広いロータリーを新設し、当院が運営する巡回バスと花と森の東京病院が運営する巡回バス、そして文京区コミュニティバス「Bーぐる」も乗り入れることが決定しました。複数のバスが敷地内に乗り入れることで利便性は大きく向上します。ただ、ここで課題となったのが3種類のバスの案内をどのように設置するか、ということでした。3種類のバスの時刻表をそれぞれ設置すると、どうしても場所をとってしまいます。また、紙の時刻表ではダイヤ改訂の度に貼りかえる手間がかかりますし、悪天候等による急な運休情報をすぐに貼り出すことも困難です。さらに、「Bーぐる」については、文京区様とどのように連携すればタイムリーな運行状況を共有できるかという課題もありました。何か良い方法はないか検討している際、思いついたのがデジタルサイネージの活用でした。

なぜリコーのデジタルサイネージを採用いただいたのでしょうか？

デジタルサイネージが良さそうだと感じたものの、最初から具体的な運用方法までイメージできていたわけではありません。そこで、リコージャパンに相談したところ、すぐに具体的な提案をいただきました。製品単体ではなくシステム構築や運用方法を含む、まさに私たちの要望を叶えるトータルな提案内容でしたので、リコージャパンなら信頼してお任せできると、発注を決めました。

導入まではスムーズに進みましたか？

はい。本体の設置からシステム構築、さらに新病院の景観に馴染むよう筐体をブラウンのシートでラッピングするところまで、短期間に対応いただけて大変助かりました。特に、「Bーぐる」の運行状況をデジタルサイネージに表示させるシステム構築においては、文京区様への提案段階からリコージャパンに参加してもらって良かったです。文京区のシステムご担当者様とリコージャパンで、直接、話を詰めていただいたからこそスムーズに実現できたように思います。

デジタルサイネージをどのように活用されていますか？

ロータリーにデジタルサイネージを設置し、当院及び花と森の東京病院が運営する巡回バスの情報、文京区コミュニティバス「Bーぐる」の情報、そして当院や行政機関からのお知らせ掲示板、この3つのコンテンツを3分割画面で表示しています。病院内から遠隔配信していますが、「Bーぐる」の情報は、Webコンテンツの配信設定でリアルタイムな情報が自動的に表示されるようにしています。

Webコンテンツの配信設定により、文京区コミュニティバス「Bーぐる」の運行状況を表示



日本医科大学付属病院様と花と森の東京病院様が運営する巡回バスの時刻表を表示



病院や行政機関からのお知らせを表示

コンテンツ例

- 日本医科大学付属病院様と花と森の東京病院様の巡回バスの時刻表・運休のお知らせ
- 文京区コミュニティバス「Bーぐる」の運行状況
- 消防署や警視庁のポスター
- 面会禁止のお知らせ/付き添い制限のお願い
(新型コロナウイルス感染症の院内感染予防のため)

オプション

- 防災/災害情報コンテンツ

遠くからでもバス停であることが分かるよう、ディスプレイ背面には病院やバスのロゴを大きく掲示しています。背面はマグネットになっており、今後、乗り入れるバスが増えたり名称やロゴが変わった場合にも、柔軟に対応できるようにしています。

「Bーぐる」の運行状況は、どのような仕組みでデジタルサイネージに表示されているのでしょうか。

文京区様にも当院の職員にも、できるだけ負荷をかけずに更新できるようにしたかったので、バスのリアルタイムな運行状況を表示するWebサイトのURLをWebコンテンツの配信設定でデジタルサイネージに登録しています。Webサイトの画面がそのまま表示されるので、バスの現在地や到着予定時間のほか、急な運休情報も、Webサイトと連動して自動的に更新される仕組みになっています。

防災/災害情報コンテンツはどのように活用されていますか？

災害拠点病院として、様々な機会を使って皆様の安全安心に貢献したいという考えから、防災/災害情報コンテンツを活用しています。来院される方は高齢の方も多く、全員がスマートフォンから最新の情報にアクセスできるわけではありません。その点、デジタルサイネージなら、大画面からいち早くバス停付近にいる皆様へ情報をお届けすることが可能です。有事に災害情報を自動的に配信する体制を整えることで、災害拠点病院としての機能強化につなげています。



日本医科大学付属病院
庶務課
主任
高見澤 司 様

リコーデジタルサイネージ

3大選定ポイント

- ①ディスプレイ1台分のスペースから、多くのコンテンツを展開できる。
- ②指定したWebページを表示できる。
- ③導入後のサポートが充実しており安心感がある。

お客様導入事例をWEBサイトでご紹介しています。
<http://www.ricoh.co.jp/signage/case.html>

リコーのデジタルサイネージ

<http://www.ricoh.co.jp/signage/>



本レポートは、リコーが提供する新しいクラウドサービスであるRICOH Clickable Paper サービスに対応しています。

スマートフォン/タブレット端末用アプリケーション[RICOH CP Clicker] (無料)をダウンロードし、ページを撮影(クリック)すると、関連情報のあるインターネット上のサイトをご覧いただけます。
www.ricoh.co.jp/software/other/clickablepaper/

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社

お問い合わせ・ご用命は

<http://www.ricoh.co.jp>